

各 位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小池 正道
(コード：4583 東証グロース)

がん治療用抗体 CBA-1205 の小児パート追加のお知らせ

当社のがん治療用抗体 CBA-1205 は現在、肝細胞がん患者さん及びメラノーマ患者さんを対象として、国内で本剤の安全性と初期の有効性を確認する臨床試験を実施しております。

当社では Germans Trias i Pujol Research Institute（スペイン、以下 IGTP）と本剤に関連する共同研究を進めてまいりましたが、その共同研究において小児がんへの適応可能性を示唆する研究成果が確認されたため、この度、当社は、神経芽腫や肝芽腫をはじめとする小児がんパートを追加することといたしました。

小児がんパートの拡大は CBA-1205 の適応癌種が広がる可能性があり、導出時の価値向上を目指すものであります。また、アンメットメディカルニーズが極めて高い小児がんと闘う患者さんに、治療の機会を与えることに貢献できる可能性があると考えております。

以 上

<IGTP>

IGTP は最先端のトランスレーショナルリサーチとイノベーションを可能にする研究体制を確立し、疾患の予防から治療に至るまで人々の健康や QOL 向上に関する医療課題の解決をミッションとするバタロナにある公的な研究機関です。バルセロナの主要な大学病院と提携しており、癌をはじめとする 9 つの領域で研究を行っています。

<CBA-1205>

現在、CBA-1205 は、日本国内において臨床第 1 相試験を実施しております。本試験の主目的は、前半パートでは種々の固形がん患者さん、後半パートでは肝細胞がん患者さんにおける安全性と忍容性の評価です。

【本件に関する問い合わせ】

株式会社カイオム・バイオサイエンス IR 担当
電話：03-6383-3561